



SDM テンプレートの設定

- [SDM テンプレートに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定方法 \(1 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートのモニタリングおよびメンテナンス \(2 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定例 \(3 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートに関する追加情報 \(5 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの機能履歴 \(5 ページ\)](#)

SDM テンプレートに関する情報

SDM テンプレートを使用してシステム リソースを設定すると、特定の機能に対するサポートをネットワーク内でのデバイスの使用方法に応じて最適化することができます。一部の機能に最大システム使用率を提供するようにテンプレートを選択できます。

Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチは、次のテンプレートをサポートしています。

- アクセス
- NAT

テンプレートを変更し、システムを再起動した後、**show sdm prefer** 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。**reload** 特権 EXEC コマンドを入力する前に、**show sdm prefer** コマンドを入力すると、**show sdm prefer** コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

SDM テンプレートの設定方法

SDM テンプレートの設定

SDM テンプレートを使用して機能動作を最適にサポートするには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	sdm prefer access nat 例： Device(config)# sdm prefer access	スイッチをアクセステンプレートに設定します。
ステップ 4	end 例： Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	reload 例： Device# reload	オペレーティング システムをリロードします。 システムの再起動後、 show sdm prefer 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。 reload 特権 EXEC コマンドを入力する前に、 show sdm prefer コマンドを入力すると、 show sdm prefer コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

SDM テンプレートのモニターリングおよびメンテナンス

コマンド	目的
show sdm prefer	使用中の SDM テンプレートを表示します。

コマンド	目的
reload	スイッチをリロードして、新しく設定したSDMテンプレートをアクティブにします。



(注) SDM テンプレートには、テンプレートの一部として定義されているコマンドのみが含まれています。テンプレートで定義されていない別の関連コマンドがテンプレートで有効になっている場合、**show running config** コマンドを入力すると、該当するコマンドが表示されます。たとえば、SDM テンプレートで **switchport voice vlan** コマンドが有効になっている場合、(SDM テンプレートでは定義されていませんが) **spanning-tree portfast edge** コマンドも有効にすることができます。

SDM テンプレートを削除すると、そのような他の関連するコマンドも削除されるため、明示的に再設定しなければなりません。

SDM テンプレートの設定例

例：SDM テンプレートの表示

次に、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチのアクセステンプレート情報を表示する出力例を示します。

```
Device# show sdm prefer access
This is the Access template.
Number of VLANs:                4094
Unicast MAC addresses:          32768
Overflow Unicast MAC addresses: 1024
L2 Multicast entries:           8192
Overflow L2 Multicast entries:  512
L3 Multicast entries:           8192
Overflow L3 Multicast entries:  512
Directly connected routes:     24576
Indirect routes:                8192
STP Instances:                  1024
Security Access Control Entries: 5120
QoS Access Control Entries:     5120
Policy Based Routing ACEs:      1024
Netflow Input ACEs:             256
Netflow Output ACEs:            768
Ingress Netflow ACEs:           256
Egress Netflow ACEs:            768
Flow SPAN ACEs:                 1024
Tunnels:                         512
LISP Instance Mapping Entries:  512
Control Plane Entries:          512
Input Netflow flows:            32768
Output Netflow flows:           32768
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries:  8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries: 512
```

例：SDM テンプレートの表示

```

Wired clients:                2048
MACSec SPD Entries:          256
MPLS L3 VPN VRF:             255
MPLS Labels:                 2048
MPLS L3 VPN Routes VRF Mode: 7168
MPLS L3 VPN Routes Prefix Mode: 3072
MVPN MDT Tunnels:           256
L2 VPN EOMPLS Attachment Circuit: 256
MAX VPLS Bridge Domains :    128
MAX VPLS Peers Per Bridge Domain: 32
MAX VPLS/VPWS Pseudowires :  1024

```

These numbers are typical for L2 and IPv4 features.
Some features such as IPv6, use up double the entry size;
so only half as many entries can be created.
* values can be modified by sdm cli.

次に、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチの NAT テンプレート情報を表示する出力例を示します。

```

Device# show sdm prefer nat
This is the NAT template.
Number of VLANs:                4094
Unicast MAC addresses:          32768
Overflow Unicast MAC addresses: 1024
L2 Multicast entries:           8192
Overflow L2 Multicast entries:  512
L3 Multicast entries:           8192
Overflow L3 Multicast entries:  512
Directly connected routes:     24576
Indirect routes:                8192
Security Access Control Entries: 5120
QoS Access Control Entries:     1024
Policy Based Routing ACEs:      5120
Netflow Input ACEs:             256
Netflow Output ACEs:           768
Flow SPAN ACEs:                 1024
Tunnels:                        512
LISP Instance Mapping Entries:  512
Control Plane Entries:          512
Input Netflow flows:            32768
Output Netflow flows:           32768
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries:  8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries: 512
Wired clients:                  2048
MACSec SPD Entries:            256
MPLS L3 VPN VRF:                255
MPLS Labels:                    2048
MPLS L3 VPN Routes VRF Mode:    7168
MPLS L3 VPN Routes Prefix Mode: 8192
MVPN MDT Tunnels:              256
L2 VPN EOMPLS Attachment Circuit: 256
MAX VPLS Bridge Domains :       128
MAX VPLS Peers Per Bridge Domain: 32
MAX VPLS/VPWS Pseudowires :    1024

```

These numbers are typical for L2 and IPv4 features.
Some features such as IPv6, use up double the entry size;
so only half as many entries can be created.
* values can be modified by sdm cli.

例：SDM テンプレートの設定

```
Device(config)# sdm prefer access
Device(config)# exit
Device# reload
Proceed with reload? [confirm]
```

SDM テンプレートに関する追加情報

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
この章で使用するコマンドの完全な構文および使用方法の詳細。	<i>Command Reference (Catalyst 9300 Series Switches)</i>

SDM テンプレートの機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	SDM テンプレート	標準のSDMテンプレートを使用すると、システムリソースを設定して、特定の機能のサポートを最適化できます。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> [英語] からアクセスします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。